

新宿連絡会

NEWS

vol.17 2000/6/22

「自立支援センター今秋開設」かちとる!



野宿者連続襲撃事件を許さない!

頒価：100円

新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議・発行
東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

TEL: 03-3876-7073 / 090-3818-3450 E-mail: inaba@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku/>

カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

新宿メーデーに600人！

5月1日、全都野宿労働者統一メーデーが、全都各地（新宿・渋谷・池袋・山谷・上野・隅田川・東京駅など）の野宿の仲間550人、横浜・寿と支援の仲間50人の総勢600人の結集でかちとられました。メーデー行動の獲得目標はもちろん「自立支援センターの早期開設」。この二年間の全都の仲間の闘いの総決算として今年のメーデー行動はあったと言えます。

全都実（全都野宿労働者統一行動実行委員会）は、メーデーに至る毎週金曜日、実に7派にわたる都庁行動を繰り広げ、「もう我慢の限界だ！」という仲間の声を都庁内に響き渡らせてきました。行動に集まる仲間の数も、150人から200人、200人から250人へと毎回、増え続け、メーデー直前の4月28日には300人の仲間が都庁前に陣取って集会を開催しました。同時に全都の仲間呼びかけて、センターの年内開設を求める署名活動を展開。署名の呼びかけでも確かな手応えを感じていました。

そして5月1日、メーデー当日には会場となった柏木公園にご当地・新宿から過去最高となる350人の仲間が結集。新宿の仲間の団結の広さと深さを誇示しました。この日、東京都は代々木公園・上野公園・戸山公園という三つの都立公園で同時に「清掃」を行なうという「妨害行為」（？）を行ないましたが、それにもかかわらず過去最大規模となった昨年とほぼ同数の仲間が各地から集まったことは大きな意味のあることだと思います。

600人のデモは、新宿の街を元気に練り歩き、道行く人々に訴えました。そして1561名分集まった署名を抱えて、代表団が途中、都庁に入り、都福祉局と交渉。ついに「センターの今秋開設」という目処を引き出すことに成功したのです。

センター今秋開設が決定

デモの本隊が一足先に到着していた新宿中央公園に代表団がやってきて、福祉局交渉の報告を行なうと、600人の仲間から歓喜の声が上がりました。ついに二年間、求め続けてきた闘いの成果がかちとられようとしているのです。

全都実は、この大きな成果を確実なものにするため、5月19日、厚生部長会会長区の北区に対する申し入れを設定しました。そしてその席上、北区の生活福祉部長は、「区長会で年度内に二ヶ所、台東、新宿に自立支援センターを開設することを正式合意した」「あとは両区が地元と話し合い、了承を得るだけ」「目標は今秋開設」と明言しました。自立支援センターの開設区がようやく正式に決定したのです。

センターの今秋開設は確実なものとなりました。だが、全都実は成果をかちとったからと言ってそこでとどまっているようなことはしません。6月23日には、全都野宿労働者団結集会を開催し、全都の仲間と共にこの成果を確認した上で、センターの事業内容について新たな要求を行政に突きつけていく予定です。この事業を本当に仲間の利益になるものにするために、全都実はまだまだ闘い続けます。



野宿者襲撃事件を許さない！

6月15日、東京都墨田区及び中央区で十代の若者によるものと見られる野宿者連続襲撃事件が発生し、少なくとも3人が負傷、1人が額を鈍器で殴られ死亡しました。容疑者は未だ逮捕されていません。

今回の事件を重く受け止めた連絡会は、緊急に現場付近のパトロールを行なったほか、多くの団体・個人と共に以下の「共同声明」を作成しました。(30日、東京都教育委員会に提出する予定)ぜひ多くの方々に、この社会に対するアピールに名前を連ねていただくことを訴えます。また26日には現場での追悼会も予定しています。

共同声明

小茂出清太郎さん(68歳)は、その日も一日の仕事を終え、来たるべき朝に備えて眠りに就いていることができるはずだった。ダンボール回収を生業とする小茂出さんは、仕事道具でもあるリアカーの中の寝床で体を横たえていた。東京都墨田区亀沢2丁目1、JR総武線ガード下。そこに彼は仲間とともに生活の拠点をかまえ、近所の人々にも慕われながら十数年間暮らしてきた。リュウマチを病んで、時に杖を使うことがあっても、毎日、多くの人々が仕事に励む彼の姿を目にし、挨拶を交わしていたという。

そんな小茂出さんの安眠を奪い、来たるべき朝を永遠に奪い去ったのは、突然やって来た少年とおぼしき二人組だった。6月15日午前1時頃、小茂出さんの近くで寝ていたKさん(56歳)が二人組の男にいきなり殴る蹴るのリンチを受け、腕などに軽い怪我を負った。無言で襲いかかった男たちはいったんいなくなったが、再び襲撃にやって来たため、小茂出さんとKさんは別々に避難した。この時、近くに住むアパートの住民は「ワー」という悲鳴と「やめろ！」という叫び声を聞いているという。小茂出さんは午前3時40分頃、ガード下から100メートル離れた路上で額から血を流して倒れているところを発見さ

れ、近くの病院に救急搬送されたが、まもなく死亡した。彼の68年の生涯は、突然振り下ろされた金属バットで終止符を打たれた、と考えられている。

襲撃者たちの標的は、「ホームレス」であれば誰でもよかったのだろう。同日未明には、亀沢3丁目及び中央区日本橋中洲の路上でも同一犯のものと思われる野宿者への襲撃が連続発生し、いずれも一人ずつが負傷している。ひとりの人間として路上で生き抜いてきた小茂出さんが、突然の暴力により「ホームレス」としての死を強要されたこと。そのことに私たちは深い憤りと悲しみを覚え、ここに共同のアピールを社会に発信する。

犯行を行なった二人組は逃走中であり、「もう安心して寝られない」というKさんの叫びは、都内6000人の野宿者共通のものになっている。また犯人グループが捕まったとしても、同様の襲撃がこれまでのように繰り返される危険性は極めて高い。若者たちによる野宿者襲撃事件は全国各地で頻発しており、この東京だけでも過去5年間に(本件を除く)3人もの野宿者の命が十代の若者によって奪われているのだ。「もうこれ以上の犠牲者を出すな！」という叫びがもはや空しく聞こえてしまうほど、野宿者への差別襲撃はこの社会の中で繰り返されてきた。

一方、野宿者の生存権を守るべき立場にある行政も、各地で野宿者の強制排除を繰り返しており、先日も太田房江・大阪府知事が「浮浪者や外国人が増える中で、快適な街を作っていく」と、差別的表現を用いて排除を正当化する発言を行なったばかりである。「命の大切さ」を一般論でしか語らず、野宿者をとりまく状況に一言も触れようとしない教育行政の責任も重い。野宿者を「邪魔者」と見なす行政の姿勢や大人たちの偏見・無関心が、少年たちの襲撃行為を後押ししていることは疑う余地がない。繰り返される襲撃をなくしていくためには、野宿者を社会の構成員と認めず、「目の前からいなくなればいい」と願う大人社会の意識こそが変わらなければならない。

私たちは、野宿者を野宿者であるがゆえに社会から抹殺しようとする暴力を心から憎む。私たちのうち、ある者は野宿を強いられた当事者であり、ある者は野宿者に心を寄せる者、野宿者と行動を共にしようとする者であるが、私たちは立場こそ違え、共に野宿者への差別や襲撃が常態化したこの社会のありようを変革したいと願っている。野宿を強いられた者が生命を脅かされることなく、一人ひとりが社会の一員として尊重され、野宿から脱することのできる様々な選択肢を手に入れることのできる社会を、私たちは求めています。

小茂出さんが暮らしていたガード下では、現在、生前の彼を知る地域の住民や野宿の仲間によって自発的に花が手向けられており、そのことが彼がこの地で生きてきた証になっている。小茂出さんが多くの人たちと交流しながら社会の一員として生活を営んできたことを雄弁に物語る無数の花は、振り下ろされる金属バットをもってしても決して消し去ることはできないであろう。

私たちは、より多くの人々が小茂出さんの無念を心に刻み、野宿を強いられた者の痛みをわかちあおうと努力することを心より願う。奪われてしまった命の重さに言葉を失いつつも、私たちはこの社会に生きる全ての人々に私たちと共に手を携えんことを訴える。

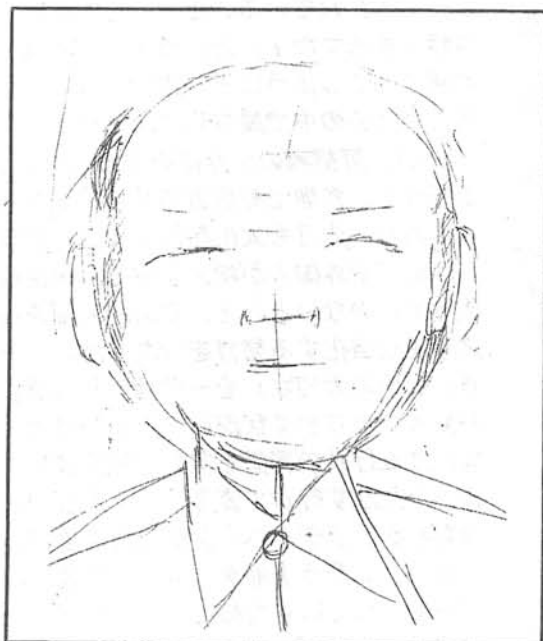
新宿連絡会／渋谷のじれん／山谷争議団・反失実／山谷労働者福祉会館活動委員会／きょうと夜回りの会／徳永五郎（日本基督教団・城西教会牧師）／北村年子（ルポライター）／渡辺秀明（福祉事務所職員）

6月21日現在

*「共同声明」に名前を連ねる方（団体・個人どちらも可）は6月29日（木）午前6時までメールかファックスでご連絡ください。

集約先：E-mail: inaba@jca.apc.org

Fax :03-5367-5667（稲葉あて）



近所の方が描いてくれた
小茂出清太郎さんの似顔絵。

写真が一枚も残っていない
ので、追悼会のために描いて
くれた。

小茂出さんは、野宿の仲間
からは頼りにされ、地域の人
々からも慕われていたという。

5-6月の医療相談

新宿連絡会医療班では、毎月第2日曜日、新宿中央公園ポケットパークでボランティアの医師・看護婦が参加した医療相談会を開催しています。医療相談では医師が診察して必要な人に市販薬をわたすほか、医療機関受診が必要な人には紹介状を書いて、翌日の福祉行動参加を呼びかけています。またボランティアの鍼灸師による鍼灸治療も並行して行なっています。

5月14日の定例医療相談は、炊き出しの前に血圧測定を行い、炊き出しが終わってから病気の相談を始めましたが、途中から雨が降り出したため、中断を余儀なくされました。記録も不十分になってしまったため、カルテが残っているのは12人のみですが、実質約20人が相談を受けました。紹介状を書いたのは3人です。（そのうち糖尿病疑いと高血圧の2人が翌日に病院受診）

6月11日の定例医療相談は、悪天候のため炊き出しが都庁第一庁舎わきの橋の下に移動したため、一緒に移動して行いました。この日は血圧測定のみを除くと、計34人が相談を受け、うち17人に紹介状を渡しました。また医療相談の時間帯の前と後に、周辺で野宿の仲間が突然倒れる、という出来事が2回もあり、救急車を呼んで添乗するなどの対応にも追われました。（2人とも入院には至らず、翌日の福祉行動を通じて再び病院を受診）

紹介状を出した17人のうち、翌日の福祉行動に参加して病院を受診したのは10人とどまりました。

医療相談の次回の予定は、7/9（日）、午後6時から場所は新宿中央公園ポケットパークです。（雨天時は都庁第一庁舎わき橋の下）

新宿連絡会では病気や高齢の仲間とともに毎週月曜日に新宿区福祉事務所の窓口へ集団申請行動を行なっていますが、その福祉行動記録がまとまりました。前の年度のものと同わせて公表します。

	99年度	98年度
総計	302	349
入院	39	37
通院・ドヤ保護	10	12
通院・ドヤ一時宿泊	16	22
通院のみ	151	173
高齢者ドヤ保護	21	19
越冬施設入所	18	27
女性施設入所	4	1
その他	43	58

平均して毎週5-6人の仲間と共に福祉の窓口を訪れていることとなります。医療機関受診を希望する仲間のほとんどは、生活保護の医療扶助で受診を認められていますが、全体として相変わらず「通院のみ」（いわゆる「青空通院」）が多いことが問題だと言えるでしょう。

新宿区福祉事務所には年間延べ10万人以上の「住所不定者」が「相談」に訪れていることになっていますが、実質はほとんどがカンパンをもらうだけで帰っています。医療のみを含めて何らかの形で生活保護にかかった人は99年度で2039人で、そのうち339人が入院になっています。ドヤでの保護数は公表されていませんが、約300人と推測されるので、延べ約1400人が青空通院を強いられている計算になります。

職員の対応に関しては徐々に改善されてきていますが、今でも「連絡会のいる月曜日以外に行く」と追い返された」との話を仲間から聞くことがあります。連絡会は新宿福祉の窓口対応に対して今後とも眼を光らしていきたいと考えています。

活動日誌 2000/4/14-6/23

- 4/14 (金) 都庁行動 (250)
中央公園パトロール
- 4/15 (土) 上野一時保護所面会
- 4/16 (日) 炊き出し (15釜)
新宿パトロール
- 4/17 (月) 福祉行動
- 4/19 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール
- 4/21 (金) 都庁行動 (250)
中央公園パトロール
- 4/23 (日) 炊き出し (16釜)
新宿パトロール (641)
- 4/24 (月) 福祉行動 (1)
- 4/26 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(176)
- 4/28 (金) 都庁行動 (300)
中央公園パトロール
- 4/29 (土) 上野一時保護所面会
- 4/30 (日) 炊き出し (16釜)
新宿パトロール
- 5/1 (月) 福祉行動 (3)
メーデー集会・デモ (600)
- 5/3 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(193)
- 5/5 (金) 中央公園パトロール
池袋炊き出し
- 5/7 (日) 炊き出し (17釜)
新宿パトロール
- 5/8 (月) 福祉行動 (6)
- 5/10 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(185)
- 5/12 (金) 中央公園パトロール
- 5/13 (土) 上野一時保護所面会
- 5/14 (日) 炊き出し (16釜) 医療相談
新宿パトロール (598)
- 5/15 (月) 福祉行動 (5)
- 5/17 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(192)
- 5/19 (金) 全都実・北区交渉 (44)
中央公園パトロール

- 5/21 (日) 炊き出し (17釜)
新宿パトロール
- 5/22 (月) 福祉行動 (5)
- 5/24 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(209)
- 5/26 (金) 中央公園パトロール
- 5/27 (土) 上野一時保護所面会
- 5/28 (日) 炊き出し (16釜) 映画上映
新宿パトロール (610)
- 5/29 (月) 福祉行動 (5うち入院1)
- 5/31 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(218)
- 6/2 (金) 中央公園パトロール
- 6/4 (日) 炊き出し (17釜) 映画上映
新宿パトロール
- 6/5 (月) 福祉行動 (6うち入院1)
- 6/7 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(209)
- 6/9 (金) 中央公園パトロール
- 6/10 (土) 上野一時保護所面会
- 6/11 (日) 炊き出し (15釜)
新宿パトロール
- 6/12 (月) 福祉行動 (10)
- 6/14 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(191)
- 6/16 (金) 中央公園パトロール
- 6/17 (土) 夏まつりに向けた話し合い
- 6/18 (日) 炊き出し (17釜)
新宿パトロール
- 6/19 (月) 福祉行動 (2)
- 6/21 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(186)
- 6/23 (金) 全都野宿者団結集会予定

*パトロールの後の括弧内の数は、路上で出会った仲間の人数、行動の後の括弧内の数は行動参加者の人数です。また炊き出しの釜数は、1釜で50-60食にあたります。

*このほか、入院した仲間への面会、生活保護や年金で生活している仲間の集まり「新宿・櫟(くぬぎ)の会」の開催(月二回程度)なども行なっています。

路上文芸総合雑誌 創刊号、3号、4号、5号、6号

露宿

バックナンバー好評発売中！(2号誌は別売です)

一冊500円(送料無料)、5冊まとめて2000円
(送料無料)で格安提供。売り切れ必死！買うなら今！

お求めは「ろじゅく編集室」まで



ろじゅくホームページ開設！

6月25日ろじゅくホームページが開設されました。と、言ってもパソコンのない方々は御安心を。何の事はない露宿バックナンバーのダイジェスト版であります。活字は紙で読むのが一番！そんな思いを伝えたくパソコンユーザーの方々向けに宣伝用に作ったものです。このページを見て一人でも多くの方が本物の露宿を手にしてもらえれば幸いです。ページは最低2ヶ月ごとに更新して最新情報を流す予定です。パソコンを操れる方は興味本位で是非一度覗いて見て下さい。メールでのご意見、ご感想、注文受付も行っています。

ろじゅくホームページアドレスは

・ <http://www.d9.dion.ne.jp/~rojuku>

◆「露宿」注文・路上文化活動の応援は、

〒170-0014 東京都豊島区池袋1-14-5-13 ろじゅく編集室

☎/FAX 03-3981-6746 もしくは090-3818-3450

Eメール rojuku@d9.dion.ne.jp

郵便振替口座 00160-6-190947 「ろじゅく編集室」

◆米・物資・活動資金カンパ送付先

〒111-0021 東京都台東区日本堤1-25-11

山谷労働者福祉会館気付新宿連絡会 (物資は土、日指定でお送り下さい)

☎03-3876-7073/090-3818-3450

郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

カンパを頂いた方には連絡会の諸活動を報告した「連絡会NEWS」(隔月)を無料でお送りしています。

今世紀最後の路上の祭典

第7回新宿夏まつり

前夜祭2000年8月12日(土) 新宿中央公園ポケットパークにて
本 祭2000年8月13日(日) 新宿中央公園ちびっこ広場にて

新宿駅西口より徒歩15分、時間はいずれも昼から夜にかけて

じめじめした梅雨が明けたらもうそこは都会の夏! 盆くらい田舎に帰りたけれど帰る家なし、金もなし。そんな仲間が第二の故郷新宿で年に一度のお祭りを毎年開催しております。昨年は新宿、池袋、渋谷など東京西部圏の仲間なんと千人も集まり、てんやわんやの大盛況。路上で死んだ仲間を憶い、生き抜く事への執着を皆、汗だくになりながら実感して参りました。今年も「仲間による仲間のための祭り」を基本に我ら熱く熱く燃え尽きたいと願っています。都会に花咲く真夏の夜の夢、新宿の風物詩新宿夏まつりにあなたも!

夏まつり賛同カンパを募っています。

カンパ送り先・郵便振替口座 00170-1-723682「新宿連絡会」あて
また、石鹸、タオル、Tシャツ、うちわのカンパもお願いします。Tシャツ(出来れば無地がベター) どうちわは、仲間の手により「夏まつりオリジナル仕様」に仕立てられる予定です。下記住所までお送り下さい。

第7回新宿夏まつり実行委員会

160-0015 東京都新宿区大京町3新大京マンション304号スペースかばす気付
TEL03-5367-5666 (稲葉呼出) FAX03-5367-5667

新宿連絡会 2000年4月-5月期会計報告

< 収入 >		< 支出 >	
郵便振替カンパ	54口 563.310	米など炊事関連費	55.791
個人・団体カンパ	140.000	交通費	158.160
事業収益	36.700	車両関連費	9.357
計	740.010	印刷費	39.655
収入	支 271.109	コピー・DTP費	4.113
前期繰越金	1.125.159	文具・図書費	7.957
就労支援貸付返済金	94.000	通信費	46.541
新規貸付金	5.000	倉庫家賃・水道光熱費	60.000
5月末就労支援貸付未返済金	409.000	電話代	35.784
<残高>	987.268	薬医療関連費	6.499
		諸雑費	12.395
		福利厚生費(花見経費)	9.149
		ろじゅく編集室へ(広告費など)	23.500
		計	468.901

数多くの皆さんのカンパありがとうございました。引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

カンパ送り先 郵便振替口座 00170-1-723682「新宿連絡会」